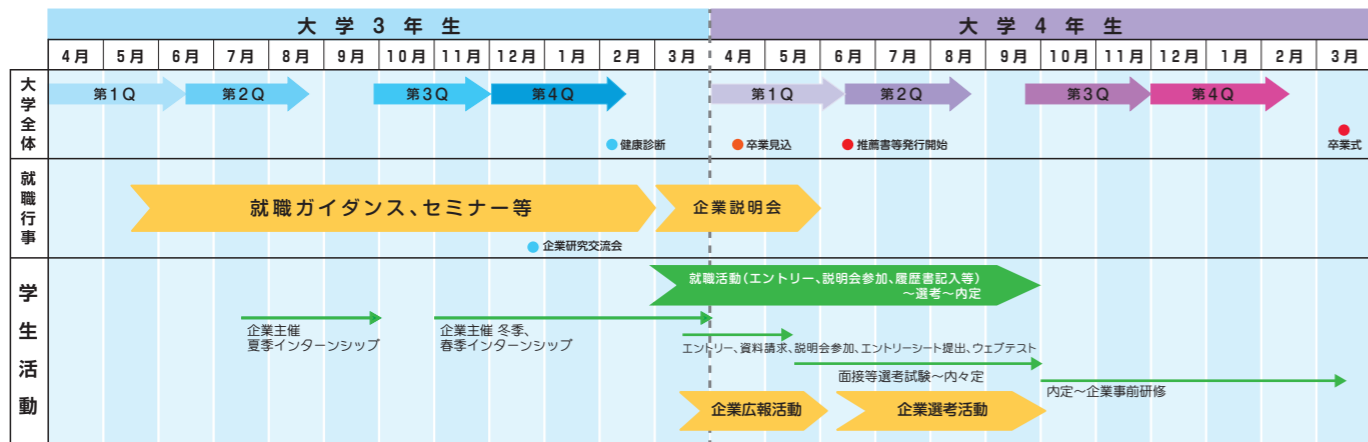


■就職支援

少人数のメリットを活かし、学生の個性と希望を尊重した進路指導を行うため、全教員が指導に携わっています。OB・OGの報告会や就職試験対策講座、学内合同企業説明会など就職セミナーも数多く実施(約20回)しています。



※学生活動は近年の実績状況をもとに、社会常識に基づき、おおまかな流れを示したものです。
 ※企業によって求人日程には半年以上の開きがありますので、学生は自身の希望する企業の求人日程状況を早めに把握してください。



就職セミナー



企業研究交流会



キャリアセンター

■求人申し込みについて

■求人、学生に関する紹介等

求人のお申込は、本学所定の求人申込票(ホームページからダウンロード可)にご記入の上、会社案内等を添付してお送りください。なお、個人情報への配慮をお願い申し上げます。

本学への求人票の受付や求人関係の各種お問合せについては、下記までお願い申し上げます。

■各種関連書類の発行について

関連書類として以下のものはそれぞれ、原則、学生が4年次に進学した年度の4月中旬以降の発行となりますので、ご了承ください。

- 卒業見込証明書
- 健康診断証明書
- 成績証明書

■採否のご連絡のお願い

本学学生の貴社への採用選考の結果につきましては、学校推薦、自由応募、その他の方法を問わず、学生本人及び就職・インターンシップ係にご通知くださいますようお願い申し上げます。

交通アクセス

- 東京より
JR上野駅からJR高崎線吹上駅まで約1時間
JR新宿駅からJR高崎線吹上駅まで約1時間
- 横浜方面より
JR横浜駅からJR高崎線吹上駅まで1時間30分
- 大宮方面より
JR大宮駅からJR高崎線吹上駅まで約30分
- JR高崎線吹上駅より
徒歩約15分
バス約3分
①前谷経由「ものづくり大学前」下車
②佐間経由「ものづくり大学入口」下車

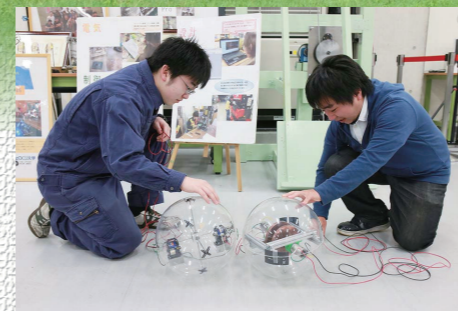
お問合せ先

ものづくり大学
学生課就職・インターンシップ係

〒361-0038 埼玉県行田市前谷333
TEL.048-564-3818 / FAX.048-564-3201
E-mail/shushoku@iot.ac.jp



ものづくり大学 求人申込みのお願い



ものづくりの明日を担う
人材を養成します。



採用ご担当者の皆様へ



ものづくり大学では、現場を理解・重視し、現場と連携できる技術者となるための教育を行っています。これは特別なことではなく、技術者教育本来の姿であり、強い技術はそのような姿勢と知見を持つ技術者から生まれると考えます。本学では実務経験豊富な教員をそろえ、基本となる技術・工学の教育と並行して、多くの実習や長期インターンシップを行うことで、「真に実践的な技術者」を育てています。

多くの工科大が近年このような実践的教育に舵を切っていますが、本学はその「本気度」と「設備・講師陣・カリキュラム」において他の追随を許さないと自負しています。卒業生が高い評価をいただいていることは、我々にとって大きな自信となっています。

設計開発でも生産技術でも、ものづくりのどのような場面にあっても本学卒業生は地力を発揮してくれるはず。ぜひ貴社におかれましても採用をご検討くださいますよう、お願いいたします。

ものづくり大学
教務長

高橋 宏樹



技能工芸学部

“徹底した実技＋理論”

特色あるカリキュラム

▶「実技・実務重視型」の授業

本格的な実習・実験に理論を加えた実学重視型プログラムです。

▶ものづくりに強い教授／講師陣

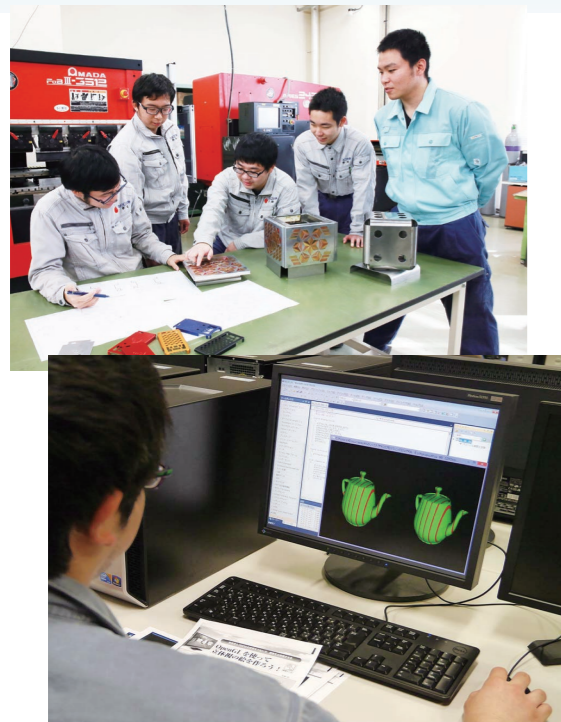
企業出身の教員が約6割、実習では各界のプロ、エキスパートが指導にあたります。丁寧な指導のもと、社会で即戦力となる実力が身に付きます。

▶長期インターンシップ

長期インターンシップ(実働40日間)を複数年次で実施しており、大学で学んだ知識や技術をより実践的なものにすることができると同時に、将来の進路決定に大いに役立てることができます。

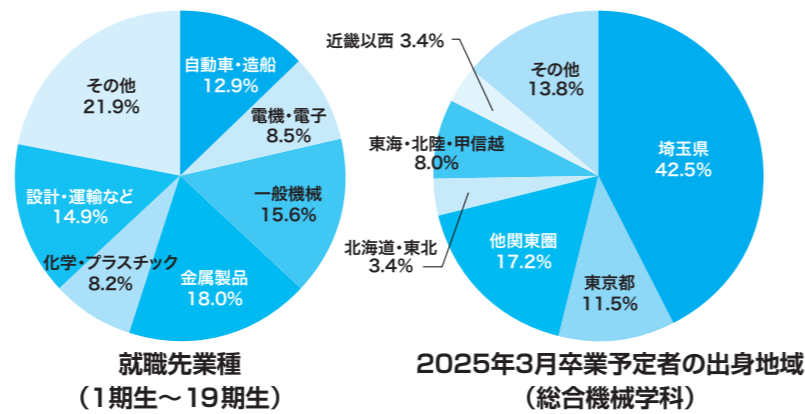
▶わが国トップクラスの充実した設備

充実した機器やソフト、設備が揃っています。授業以外の課外活動で設備を自由に使えるのも本学ならではの強みです。



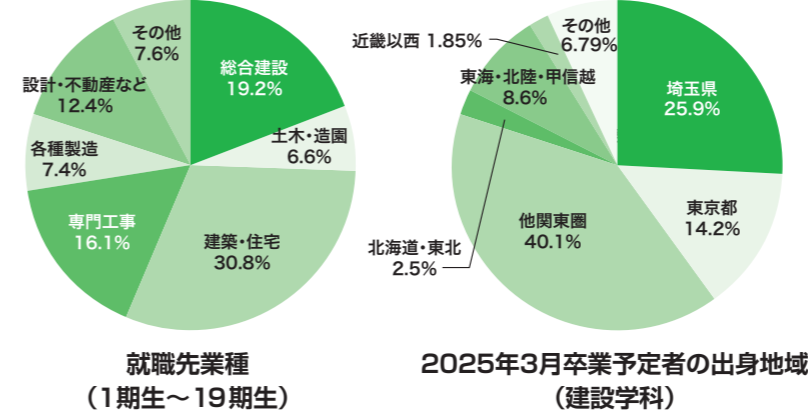
総合機械学科

(機械、電気・電子、情報分野をトータルに学びます)



建設学科

(建築、土木、環境分野をトータルに学びます)



学生の声：総合機械学科



自動車製造業内定
総合機械学科(2024年3月卒業)

鈴木 郁宣

私は、幅広い視点から考えることのできる設計者になりたいと思い、本学に入学しました。入学後はCADや手書きでの設計、製図の授業、機械加工や生産技術の授業で製品の作り方を学ぶだけでなく、電気関係の授業でセンシングやプログラム等、幅広い分野の知識や技術を学びました。また、授業で学んだ内容を“学生プロジェクト”の一つである“宇宙開発研究プロジェクト”の活動に活かし、実際にチームでモノづくりを行っていくことで、授業だけでは身につかない知識や技術を習得することができました。“宇宙開発研究プロジェクト”で得た衝突時の安全性や安定性の知識を活かせる、自動車製造業でその力を発揮したいと強く感じ、考えるようになりました。

就職活動では、教職員の方々やキャリアカウンセラーの方々の手厚いサポートを受けることができ、第一志望の会社から内定をいただくことができました。卒業後は、本学で得た学びを糧に目標とするような技術者になるべく一層努力していきたいです。

学生の声：建設学科



鉄骨工事業内定
建設学科(2024年3月卒業)

宇津味 泰成

私は、高校生の時に、木造住宅の設計に興味を持ち、将来は、実践的な木造の技術や知識等、幅広い知識を兼ね揃えた設計士になりたいと考え、実践的に建設業を幅広く学ぶことが出来る本学に入学しました。大学では、実習を通して様々な知識を得るとともに、今まで考えていなかった建造物の構造等にも興味を持つようになり、住宅設計だけでなく、建設の技術も力を入れて学びたいと思うようになりました。

3年次の研究室配属選択の際に、やりたいことは何かを改めて考えたところ、大学で学んだ橋梁関係に一番興味があったことから、橋梁に携わり、社会インフラを支えることで社会に貢献したいと思い、橋梁・構造の研究室に入りました。研究室での活動は、より専門的な知識を得る良い機会となり、作業・実験などを経て貴重な経験ができました。

就職活動では悩むこともたくさんありましたが、研究室の教授やキャリアセンターの方々のサポートもあり、第一希望の企業に内定を頂きました。卒業後は4年間で学んだスキルと新しい知識を存分に活かして、社会に貢献できるよう努めていきます。